

北陸防災情報通信セミナー

～災害時における情報の伝達・収集のために～

■日時：平成29年12月1日(金) 13:15～16:45

■会場：富山県民会館 401号室

(富山市新総曲輪4-18 電話：076-432-3111)

■主催：総務省北陸総合通信局、北陸情報通信協議会

講演 (13:45～16:15)

基調講演

「地図を活用した平時に取り組む防災訓練」

日本中で様々な防災訓練が行われているが、消火や炊き出しなど、地域で行われている訓練は災害時の地域の様子を想定して行われているのだろうか。

本セミナーでは、地域の文脈に沿った防災訓練のあり方を検討するとともに、オープンデータや空間情報を活用した地域防災の計画立案の方法を検討します。

講師 **大西 宏治 氏**

富山大学 人文学部 准教授

講演 I

「NTTドコモの災害対策」

ドコモでは、「システムとしての信頼性向上」「重要通信の確保」「通信サービスの早期復旧」を災害対策の3原則と定め、様々な備えを行っています。

本セミナーでは、昨年4月の熊本地震及び本年7月の九州北部豪雨での事例を交え、災害対策の強化に向けた取組についてご紹介します。

講師 **山本 雅人 氏**

株式会社NTTドコモ 北陸支社 ネットワーク部 災害対策室長

講演 II

「IoTを活用した安心・安全な街づくりの取組 ～最新の技術による防災・減災対策～」

近年、熊本地震や東北・北海道の台風による甚大な被害など全国的に多種多様な災害が発生しており、自治体様からも様々な課題や要望をいただいております。

それらを踏まえて、富士通が考えるIoTを活用した防災・減災対策について事例を交えてご紹介します。

講師 **吉田 千穂 氏**

富士通株式会社 社会システム営業本部

地域社会ネットワークビジネス推進部 マネージャー

災害対策用移動通信機器の展示と通話体験 (13:15～16:45)

総務省は、災害発生時の通信の確保のために地方公共団体等に「衛星携帯電話」「簡易無線機」「MCA無線機」を無償で貸与しています。セミナー会場において、簡易無線機同士及びMCA無線機同士で実際の通話が体験できます。

臨時災害放送局のデモ放送 (13:15～16:45)

臨時災害放送局は、災害発生時に地方公共団体等が開設する臨時FMラジオ放送局のことで、総務省では機材一式を地方公共団体に無償で貸与しています。セミナー会場において87.3MHzでデモ放送を行います。(北陸総合通信局では本年7月に配備)